

03 平成の名古屋市民の森づくり 2015

【日 時】 平成 27 年 5 月 16 日（土）11：00～16：00

【場 所】 木曾町福島戸立町有林（午前）、木曾町開田高原（午後、一般コース）

【内 容】 以下のとおり

現在行われている「名古屋城本丸御殿復元事業」に木曾ヒノキが材料として使用されることから、木材を使用するだけでなく、木材の産地で植栽・育樹を行い上流域の豊かな自然環境を将来に残そうと、平成 21 年度から木曾町町有林で実施しているもので、今年で 8 回目となります。

当日は、参加者から一般市民 120 名（バス 3 台）のほか、名古屋市役所より新開副市長以下同市職員等 20 名及び木曾広域連合長、木曾町長ほか郡内関係者 60 名の合計 200 名で行われました。

開会式典は名古屋市副市長及び木曾広域連合長、木曾町長のあいさつに始まり、県林業士会のご協力により恒例となったチェーンソーによる伐木作業の実演を行いました。また、木曾町農林振興課の小林課長と木山沢係長より「木曾の木遣り唄」を披露していただく演出もあり、市民の皆さんは、森の中に響き渡る唄声に聴き入っていました。

式典終了後は 12 の班に分かれて植樹作業を行いました。参加者は、各班のリーダーより作業内容の説明を行い、約 30 分以内にそれぞれ鍬を手に斜面を掘り 1 本 1 本丁寧に苗木を植えていきました。木を植えた後は、事前に配布されていたヒノキ製のプレートにメッセージを書いて、目串に結びつけていきました。

当日は前夜から雨が降り続いていましたが、午前中の植樹作業が終了する頃には雨もあがり、陽が差し込むようになりました。

午後は 2 つのグループに分かれての行動となりました。一般コース（80 名）の方は、開田高原へ移動し昼食をとり、木曾馬の里や山下家住宅の見学を楽しまれました。とことんコース（40 名）の方は、植樹会場で昼食後引き続き植樹作業を行いました。一般コースの方は 16 時ごろ、とことんコースの方は 14 時 30 分頃、それぞれ名古屋市へ向けて出発され、無事植樹イベントが終了しました。

※ 今回植樹した苗木：ヒノキ 550 本、エドヒガンザクラ 30 本、クヌギ 30 本、ネムノキ 30 本、ヤマボウシ 30 本、ガマズミ 30 本、ムラサキシキブ 30 本…計 730 本

今回のイベントは「第 67 回全国植樹祭ながの応援イベント」として長野県へ登録したことにより、植樹された苗木の約半数（ヒノキ 267 本、エドヒガンザクラ 30 本、クヌギ 30 本、ネムノキ 30 本）を長野県より無償提供いただきました。

◎ 当日の様子



開会式典



木遣り唄を聴く参加者



伐倒デモンストレーションの様子



植樹作業（作業内容の説明）



植樹の様子 1



植樹の様子 2



午後の一般コース（木曾馬の里）



午後の一般コース（山下家住宅）